



営業時間/8:00~20:00

実のり山陽店

TEL (086) 955-5561
岡山県赤磐市上市180-1

営業時間/9:00~20:00

実のり玉島店

TEL (086) 523-0511
岡山県倉敷市玉島爪崎1057-1

営業時間/9:00~20:00

実のり大安寺店

TEL (086) 214-2338
岡山県岡山市北区野殿西町418-1

営業時間/9:00~20:00

実のり伊予三島店

TEL (0896) 23-0600
愛媛県四国中央市下柏町688

Time
HOME CENTER

実のり
農家の店

☆ 除草剤、殺虫剤、殺菌剤各種販売中!!

☆ 防獣資材、防鳥資材各種販売中!!

☆ 桃の箱等出荷用品各種販売中!!

☆ 立てず、オーニング等遮光用品各種販売中!!

☆ スイレン、ホテイ草など水生植物続々入荷!!

緊急特集第二弾!! 果樹カメムシ注意報発令特集!

岡山県は、4月24日、モモやナシなどに被害をあたえる<果樹カメムシ類>の大量発生が予想されるとして、注意報を県内全域に発令しました。果樹カメムシ類は、チャバネアオカメムシや、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシなどを総称して言います。加害状況は、針状の口を果実に刺して汁を吸い、奇形果や生育不良を引き起こします。全国的にも福岡県や愛媛県など、5県で注意報が発令されています。農薬散布などの防除が一番効果的ですが、ここでは今一度カメムシの生態をおさらいし、より効果的な防除の参考にさせていただきたいと思えます。

チャバネアオカメムシの生態



<越冬>

チャバネアオカメムシは、成虫の状態で落ち葉の下などで越冬します。越冬場所は、常緑広葉樹と、雑木がいりまじった日が時々差し込む斜面が多いようです。越冬中、体は茶褐色になっています。

<エサとなる植物>

種類としては、100種類以上あるようですが、最も好きなエサは、ヒノキの種子のようです。それがない時期は、サクラ、クワ、キリの実などです。こういったえさがなくなると果樹に飛来して果実を加害するようですが、好んで加害するのではなく、本来のエサではないようです。

<飛来状況>

越冬場所から出てきた成虫は、4月終わり頃からサクラの実などをエサにし、クワの実、キリの実などと食いつないでいきます。ヒノキの種子が実るとそこに産卵し、増殖していきます。その過程でエサが不足すると果樹園に飛来して加害していきます。さまざまな資料によると、チャバネアオカメムシの一日に飛行する距離は約5kmにのぼり、平均3~4日その果樹にとどまるようです。また、カメムシは、夜行性で特に日没後から1時間が最も盛んに活動するようです。昼間は、多くは葉裏や果実と果実の隙間に隠れているようです。

<天敵と防除対策>

捕食する天敵として、クモ、カマキリなどが有名です。寄生する天敵としては、成虫に寄生するものは、マルボシヒラタヤドリバエ、卵に寄生するものは、チャバネクロタマゴバチなどが有名です。有効な殺虫剤は、有機リン系、ピレスロイド系、ネオニコチノイド系です。有機リン系は即効性ですが、残効期間が1~3日と短くなります。ピレスロイド系は、殺虫効果だけでなくその効果がなくなった後も吸汁動作をやめさせる効果が続きます。しかし一方で天敵に影響を与える期間も長くなり、別の害虫であるハダニやカイガラムシなどが発生してしまうので、使用には注意が必要です。ネオニコチノイド系は、殺虫効果よりも吸汁活動をやめさせるのが主な効果になります。この農薬では天敵の寄生蜂に影響がでるようです。

○モモ、ナシを加害するカメムシに使用できる主な農薬

農薬名	使用時期	希釈倍数	使用回数	注意
アーデント水和剤	収穫前日まで	1000倍	3回以内	梨は7日前まで
テルスターフロアブル	収穫前日まで	3000倍	2回以内	
MR. ジョーカー水和剤	収穫前日まで	2000倍	2回以内	梨は14日前まで
アグロスリン水和剤	収穫7日前まで	2000倍	5回以内	梨は登録なし
アディオン乳剤	収穫7日前まで	2000倍	6回以内	梨は前日2回以内
モスピラン顆粒水和剤	収穫前日まで	2000~4000倍	3回以内	
アクタラ顆粒水和剤	収穫前日まで	2000倍	3回以内	
アルバリン顆粒水和剤	収穫前日まで	2000倍	3回以内	
ダントツ水溶剤	収穫7日前まで	2000~4000倍	3回以内	梨は前日
アドマイヤー顆粒水和剤	収穫3日前まで	10000倍	2回以内	梨は5000~10000倍